

# つばめ だより



〒569-0015 高槻市井尻2丁目37番8号  
TEL 072-660-3600 (代表) FAX 072-660-3601  
<http://www.kyousei-fukushi.or.jp/warouen/>



## 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。  
年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和5年5月8日には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症になりました。一律に対応を求められることは少なくなり、個人や事業者が自主的に判断して実施するという形で「脱コロナ」の日々を送りつつあるのではと思えます。しかし、高齢者施設等においては、重症化するリスクを有する高齢者が多く生活しているため、職員は変わらず感染予防に努めている毎日で、介護施設の「コロナ禍」はまだ続いているという実感です。

そのような中でも昨年は納涼祭や敬老会など季節行事の内容を工夫し、開催することができたり、ボランティアの方々に来ていただく機会を持つことができたりしました。

少しずつでも楽しい時間を、普通の日常を過ごしていただけたらと和朗園のサービスク内容も「アフターコロナ」への転換を進めてまいります。

本年もこれまで同様のご支援を心からお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 恭生会  
総合介護福祉施設 和朗園  
施設長 井谷 尚利

# 芥川高校和太鼓部による演奏会

12月は芥川高校和太鼓部の方が来園されて、和太鼓演奏を披露して頂きました。

和太鼓の迫力ある演奏に利用者様も写真を撮ったりする方もいたり、食い入るように見られていました。



## 冬至の日に” 柚子湯 ” を行ないました。

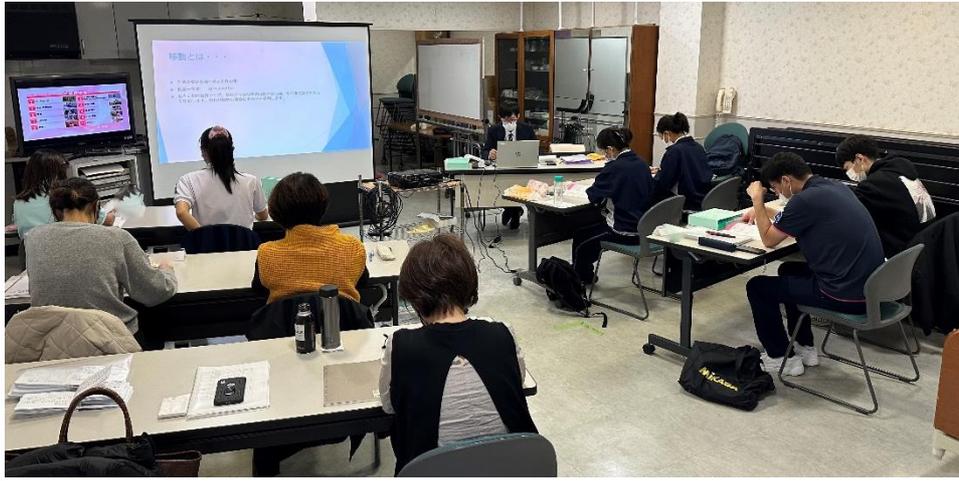
お風呂に柚子を浮かべて、身体を温めながら柚子の良い匂いを楽しんで頂きました。普段とは違うお風呂に利用者様も季節を感じて頂けたかと思えます。



## 初任者研修

10月より今年度の初任者研修が開始しました。この研修は介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得する研修です。講師は東和会グループで働く経験豊富な職員や現場でのリアルな経験を交えた丁寧で分かりやすい講義です。

本年度の受講生は、9名でした。和朗園を含め東和会グループから受講しました。利用者様の介護に活かせるように真剣に学び、力を合わせ全員合格しました。



## 感染対策委員会

和朗園では、感染症の予防や発症時における蔓延防止を効果的に行うこと、利用者様の生活環境を点検評価し維持改善を行うこと等に取り組んでいます。

感染症を蔓延させないためには、日常における感染対策と初期対応がとて大切になります。対応を適切に行っているよう流行期を前に、毎年ノロウイルスやインフルエンザなど感染症発症時における初期対応のトレーニングをしています。現在は新型コロナウイルス感染症への対策もあり、季節に関わらず、発症時の対応について適宜職員へトレーニングし確認しています。

他にも、利用者様の生活環境を定期点検し、環境の維持と改善に取り組んでいます。

これからも皆様に快適にお過ごしいただけるよう努めて参ります。



## 健康教室開催



11月9日にクロスパル高槻で五領地区福祉委員会主催による”福祉のつどい”で健康教室を開催しました。今回の健康教室では、機能訓練から竹之内さんが出張して、脳と身体のリフレッシュを目的にまずは一人じやんけん（脳のトレーニングと指の体操）を行いました。右手と左手で一人じやんけんを行い、その際に達成条件を付けてその通りに手をだすアクティビティです。その他にも棒体操（上半身のストレッチ、筋力強化、柔軟性向上、姿勢改善）を行ったり、和朗園内でも食事前に行なっている口腔体操（発声、咀嚼や嚥下機能の向上）を行ない、30分という短い時間でしたが、参加者の方々も笑顔をみせながら身体を動かしていました。自宅でもできる運動ですので、お勧めいたします。

## 栄養科だより

お正月の行事食について  
和朗園では1月1日〜3日におせちを提  
供しました。



1/3栗きんとん・和え物  
紅白かまぼこ・黒豆



1/2だて巻き・金時豆三  
度豆のゴマ和え



1/1かずのこ・なます・  
黒豆・かまぼこ

昔、「おせち」は、3月3日のよ  
うな節句の料理を  
呼んでいました。  
今はごちそうの多  
いお正月料理のこ  
とを呼んでいます。  
おせち料理には、  
それぞれ家族の幸  
せや健康を願う意  
味がこめられてい  
るのはご存知でし  
ょうか。  
例えば、黒豆は  
家族みんなが「ま  
めまめしく働けま  
すように」、数の  
子はたくさんのお  
から「子孫繁栄」、  
栗きんとんは黄金  
色をしており、金  
団と書くことから  
「金運上昇」など  
新しい年への願い  
がこめられています。  
おせち料理の意  
味を知ると、おせ  
ちをいただくのが  
楽しくなりますね。

## 和朗園美観活動

事務所の職員が、和朗園の玄関や施設周りを季節ごとに花を入れ替えて華やかにしてくれています。来園された時にお時間あればご鑑賞下さいませ。



## つばめだより終了のお知らせ

長らくご愛読して頂いたつばめだよりは次号をもって終了することとなりました。今後は各部署からの広報誌で発信させて頂きます。

## 編集後記

2023年も広報誌を手にとって頂く方々に和朗園での取り組みをお知らせできればと思い、作成してきました。今までを振り返ると、感染対策で使われているマスクを外している写真も多くなり、何よりボランティアの方々によるイベントが増えて、利用者様も大変喜ばれているのが広報誌から伝わります。2024年も読者の方々にも楽しいが伝わる広報誌作りを行なっていきます。